



## 阪神・淡路大震災 東日本大震災 災害復興をデザイン視点で考える講演会

追手門学院大学(大阪府茨木市、学長：川原俊明)は、卒業生団体である大学校友会兵庫支部の総会行事の一環として、災害復興が専門の田中正人准教授による「デザインで世界を変えることはできるのか」講演会を2月17日に尼崎市内で開催します。

1995年の阪神・淡路大震災をはじめ2011年の東日本大震災、近い将来起きると予測されている南海トラフ巨大地震など大災害にどう向き合うか、災害への備えから災害発生後の復興のあり方にいたるまで私たちは様々な課題を抱えています。

田中准教授は阪神・淡路大震災発生後の被災地の災害復興にも関わり、仮設住宅や災害公営住宅における被災者の孤立問題について、従来の医療・福祉分野とは異なる、「孤立しない空間をデザインする」というアプローチの可能性を提唱しています。こうしたデザインの視点を災害復興にどのように生かすのか、阪神・淡路大震災を経験した地元の人たちと考えます。

### 【ポイント】

- 災害復興におけるデザインの可能性について考える講演会
- デザインの視点は仮設住宅の配置においても取り入れられるなど、広がっている。
- 講師は阪神・淡路大震災後のまちづくりにも関与。実践と理論からのアプローチ。

### 【行事概要】

行事名：講演会「デザインで世界を変えることはできるのか」

日時：2018年2月17日(土) 13時20分から60分程度

会場：都ホテルニューアルカイク(阪神尼崎駅下車徒歩7分)

講師：田中 正人(追手門学院大学地域創造学部 准教授)

聴講者：兵庫県在住の追手門学院大学卒業生ら40人

※当日の連絡先：090-5658-7300(広報課携帯)

この資料の配付先：尼崎市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 谷ノ内・足立